

自殺者減少も2万人超

21年速報値 福井は11人増140人

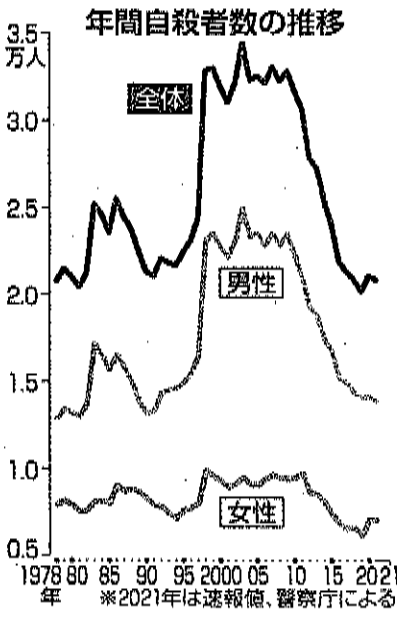
二〇二一年の自殺者数が二万八百二十人となったことが二十一日、警察庁の自殺統計（速報値）に基づき厚生労働省の発表で分かった。二年ぶりの減少。新型コロナウイルスの国内流行などが影響し〇九年以来の増加となった二〇年の確定値と比べ二万五千五百一十一人減った。ただコロナ禍前の一九年と比べると六百六十一人減で二年ぶりに減り七千十

五人となったが、一九年より九百二十四人多く高止まりがみられる。コロナ禍による生活環境への影響が続いている可能性もある。速報値は毎年三月発表の確定値で二百人前後増える傾向にあり、二二年は二〇年と同水準になることもあり得る。厚労省は「二〇年はコロナ禍や著名人の自殺の影響で月別の増減などが

不規則だった。二二年は従前の傾向に戻った」とみて

いる。都道府県別で自殺死亡率が最も高かったのは山梨（二・三・七人）で、青森（二・三・六人）、新潟（二・一・二人）が続いた。低かったのは神奈川（二・二・八人）、石川（二・三・二人）、京都（二・四・五人）。

比では六百十八人減った。一方、経済・生活問題は百十四人増の三千三十八人で、うち生活苦が理由だった人が約一割増の九百九十人に上った。



悩み相談窓口 (厚生労働省のホームページより)

(0570) 783556
午前10時～午後10時
いのちの電話 **(0120) 783556**
午後4時～午後9時、
毎月10日は
午前8時～翌日午前8時

(0570) 064556
対応の曜日・時間は
都道府県により
異なる
こころの健康相談
統一ダイヤル

(0120) 279338
岩手、宮城、福島各県からは
(0120) 279226
24時間対応
よりぞい
ホットライン

都道府県別で自殺死亡率が最も高かったのは山梨（二・三・七人）で、青森（二・三・六人）、新潟（二・一・二人）が続いた。低かったのは神奈川（二・二・八人）、石川（二・三・二人）、京都（二・四・五人）。

一、十一月分の暫定値として原因・動機も分析。健康問題が八千八百八人と最も多かったが、二〇年同期

小中高生の自殺は、暫定値で、過去最多だった二〇年に比べ四十人減の四百六十人だった。